

中村八朗 なかむら やしろう 小説家。大正二年四月十六日長野縣生れ、平成十一年二月三日没（九二四一六九）。本名八郎。昭和十一年早稲田大學文學部佛文科卒。在學中の九年、八木義徳、辻虎一等と同人誌『黙示』創刊。十四年出征し、二十二年復員。丹羽文雄主宰誌『文學者』同人、十五年白會會員。

著書『マラッカの火』（昭和二十九年十一月十五日北辰堂）、『高校卒業前後』（昭和二十一年二月五日河出書房「河出新書」）、『獣の通る道』（昭和二十二年九月十五日八風社）、『主婦と銃弾』（昭和二十五年十一月）、『炎の季節』（昭和二十八年一月十五日東方社）、『聖女の領域』（昭和二十八年十月二十五日主文館）、『遠いところまで』（昭和四十一年四月）、『春陽堂書店「春陽文庫」』、『君と僕は高校生』（昭和四十一年十月）、『五頁秋』（書房）、『ナイリピン・レイン』（昭和四十七年九月十五日、再刊・十一月十日学術研究社「アインブックス」）等。

